

(別紙4-1)

危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)に係る居住者の退去状況等<sup>(注1)</sup>

(平成18年3月17日17時現在)

	総入居戸数 <sup>(注2)</sup> (当初)	うち退去済	うち入居中			
			3月20日までの退去予定	3月21日以降退去予定又は退去日未定	その他	
分譲 (11棟)	309戸	<u>272戸</u> (+1)	<u>37戸</u> (-1)	3戸	13戸	21戸
賃貸 (7棟)	197戸	<u>194戸</u> (+1)	<u>3戸</u> (-1)	0戸	2戸	1戸
計	506戸	<u>466戸</u> (+2)	<u>40戸</u> (-2)	3戸	15戸	22戸

(注1)「危険性が確認された構造計算書偽装物件(マンション)」とは、 $Q_u/Q_{un}$ (保有水平耐力/必要保有水平耐力)値が0.5未満であり、震度5強程度の地震で倒壊するおそれがあるものをさす。

(注2)空室を含めると、総戸数は分譲332戸、賃貸213戸の合計545戸